

指導事例 3

「日本史 B」の人物学習における指導と評価

1 指導計画・評価計画

(1)対象生徒 3年生 21名(選択授業)

(2)単元 織豊政権と幕藩体制の形成

(3)単元の目標

織豊政権の統一政策、幕藩体制の特質を理解させる。

信長、秀吉、家康の主要な政策の意図やその歴史的な意義を追究、考察させる。

(4)単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現	知識・理解
織豊政権、幕藩体制の特質に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。	織豊政権、幕藩体制の特質から課題を見だし、多面的・多角的に考察している。	織豊政権、幕藩体制の特質を追究するために必要な資料を収集・選択して活用している。	織豊政権、幕藩体制の特質についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。

(5)単元の指導計画(9時間)

時	学習活動(: 使用教材等)	指導上の留意点	評価計画
1 信長	信長の幼少時から尾張統一までのエピソードを知る。 ワークシート1の「信長の統一過程」の空欄を埋めて完成させる。 ワークシート1、教科書、図説	・信長への興味・関心を抱かせる。 ・教科書や図説を参考にさせる。	【関心・意欲・態度】 ・信長に関心をもっている。
	ワークシート1の記入事項を確認する。 ワークシート1、教科書、図説	・生徒に発表させながら確認を行い、必要な説明を加える。 ・未記入や誤りは正すよう指導する。	【知識・理解】 ・信長の統一過程を理解し、必要な知識を身に付けている。
2 信長	長篠合戦の経緯を学び、合戦の意義を考察する。 長篠合戦図屏風 ワークシート1	・合戦の流れを確認させながら説明する。 ・長篠合戦の意義を、鉄砲に着目させながら質疑応答を行い、まとめさせる。	【資料活用の技能・表現】 ・長篠合戦図屏風を、鉄砲に着目して読み解いている。
	キリスト教の扱いや仏教勢力との対立について学び、信長の宗教政策の意図や意義を考察する。 ワークシート1、教科書、図説	・キリスト教と外国貿易との関係にも触れる。	【知識・理解】【思考・判断】 ・信長の宗教政策や経済政策を理解し、その目的や意義について考察している。
	楽市・楽座などの経済政策の目的や意義を考察する。 ワークシート1、教科書、図説	・商業発展の観点から説明する。	

	本能寺の変とそこに至る経緯を学習する。 教科書、図説	・信長への興味・関心を高める。	
	自己評価及び学習事項の確認テストを行う。 確認テスト&自己評価票1		【関心・意欲・態度】 ・信長についてさらに学びたいと思っている。
3 秀吉	秀吉の出生から本能寺の変直前までのエピソードを知る。 ワークシート2の「秀吉の統一過程」の空欄を埋めて完成させる。 ワークシート2、教科書、図説	・秀吉への興味・関心を抱かせる。 ・教科書や図説を参考にさせる。	【関心・意欲・態度】 ・秀吉に関心をもっている。
	ワークシート2の記入事項を確認する。 ワークシート2、教科書、図説	・生徒に発表させながら確認を行い、必要な説明を加える。 ・未記入や誤りは正すよう指導する。	【知識・理解】 ・秀吉の統一過程を理解し、必要な知識を身に付けている。
4 秀吉	検地について学び、その目的や意義を考察する。(指名・発表) ワークシート2、教科書、図説	・全国統一の基準で行われたことを説明する。	【知識・理解】【思考・判断】 ・秀吉の各政策を理解し、その目的や意義について考察している。
	刀狩について学び、その目的や意義を考察する。(指名・発表) ワークシート2、教科書、図説 秀吉の農民統制政策の結果について考察する。 ワークシート2	・秀吉が農民出身であることに着目させる。 ・「刀狩令」を現代語訳したものを示す。	
5 秀吉	キリスト教政策について学び、その目的や意義を考察する。 (指名・発表) ワークシート2、教科書、図説	・「バテレン追放令」の内容にも触れる。	【関心・意欲・態度】 ・秀吉についてさらに学びたいと思っている。
	朝鮮出兵について学び、その影響を考察する。(指名・発表) ワークシート2、教科書、図説	・政権崩壊の一因になったことを指摘する。	
	自己評価及び学習事項の確認テストを行う。 確認テスト&自己評価票2		
6 家康	家康の幼少時から秀吉の天下統一時までのエピソードを知る。 ワークシート3の「江戸幕府の開設」の空欄を埋めて完成させる。 ワークシート3、教科書、図説	・家康への興味・関心を抱かせる。 ・教科書や図説を参考にさせる。	【関心・意欲・態度】 ・家康に関心をもっている。

6 家 康	ワークシート3の記入事項を確認する。 ワークシート3、教科書、図説	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に発表させながら確認を行い、必要な説明を加える。 未記入や誤りは正すよう指導する。 	【知識・理解】 <ul style="list-style-type: none"> 家康の統一過程を理解し、必要な知識を身に付けている。
7 家 康	江戸幕府の仕組みや将軍の権力の背景となる経済力・軍事力について学習する。 ワークシート3、教科書、図説	<ul style="list-style-type: none"> 将軍の強大な権力を、豊臣政権と比較して考察させる。 	【知識・理解】【思考・判断】 <ul style="list-style-type: none"> 家康の各政策を理解し、その目的や意義について考察している。 【関心・意欲・態度】 <ul style="list-style-type: none"> 家康についてさらに学びたいと思っている。
	家康が子の秀忠に将軍職を譲ったことの意味を考察する。 ワークシート3	<ul style="list-style-type: none"> 徳川氏以前には豊臣氏が権力を握っていたことを示唆する。 	
	大名の区分とその統制の方法について学習する。 ワークシート3、教科書、図説 朝廷、寺社、農民の支配について学習し、その意図や意義を考察する。 ワークシート3、教科書、図説	<ul style="list-style-type: none"> 統制のために制定された法令とその内容について、具体例をもとに説明する。 	
	自己評価及び学習事項の確認テストを行う。 確認テスト&自己評価票3		
	次時からの調べ学習についての説明を聞く。 ・テーマ：ある一つの分野における3人の政策を比較しながらまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 共通点や相違点、それぞれの政策の影響などに留意するよう指導する。 	
8 9 課 題 追 究 学 習 ・ 自 己 評 価	調べ学習 ・教科書、図説、配布プリント、図書館の蔵書等を利用してまとめ、レポートとして提出する。	<ul style="list-style-type: none"> 司書に協力を依頼しておき、関連図書を集めておいてもらう。 図書室で、個人ごとに活動する。 	【資料活用の技能・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 授業で学んだことをもとに、必要な資料を適切に収集・選択し、まとめている。 【知識・理解】【思考・判断】 <ul style="list-style-type: none"> 正しい事実に基づき、3人の政策を比較しながら総合的に考察し、自分の考えをもっている。
	単元の学習を振り返って、自己評価票の記入を行う。 自己評価票4	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価票4を配布し、説明を加える。 	【関心・意欲・態度】 <ul style="list-style-type: none"> 織豊政権と幕藩体制の特質に関心をもち、意欲的に追究している。

2 各人物についての「ワークシート」と「確認テスト&自己評価票」

(1) 「ワークシート」

授業では、各人物の生い立ちを取り上げ、エピソードも紹介するなどして、人物に対して親しみを持てるよう工夫した。

空欄は、基礎的・基本的な事項とした。空欄に入れる文言は、用語・歴史的名辞としての一体感に配慮した。(例：『[] 県』ではなく、『[] 県』)

また、各人物の主要な政策の意図やその歴史的な意義を考察・追究させる項目を設けた。

(2) 「確認テスト&自己評価票」

「確認テスト」では、授業で取り扱った基礎的・基本的な知識の定着を図った。授業で考察した、各人物の主要な政策についても、自分の言葉で説明させることにより、生徒自身が自己の学習状況を確認できるようにした。

「自己評価票」では、生徒に、各人物についての学習(各2~3時間)を振り返らせ、「関心・意欲・態度」に関する項目も設けた。

記入させた後に回収し、内容に応じた助言を書き添えて、次の授業で返却した。

ワークシート1 織田信長の統一事業 (第1・2時間目用)

1 信長の生い立ち

- 1534 尾張(現在の[] 県)の(那古野)城で生まれる。
穀倉地帯で経済的に豊かな[] 平野]に広がる。
- 48 美濃(現在の岐阜県)の斎藤道三の娘と結婚する。
- 51 父の信秀死去、織田家を継ぐ。
- 59 尾張を統一。

2 信長の統一過程

- 1560 [] の戦いで [] を破る。
[] を将軍にたてて京都に入る。
- 70 浅井長政・朝倉義景を姉川の戦いで破る。
石山本願寺と対決(石山戦争)各地に [] 一揆]おこる。
- 71 比叡山 [] 寺]を焼き討ちする。
- 73 将軍 [] を追放する。 = [] 幕府] 滅亡
- 75 [] 合戦]で鉄砲を使用し、 [] を破る。
越前(現在の福井県)の [] 一揆]を平定する。
- 76 [] 城]建設を開始する(79年に完成)。
- 80 石山本願寺が降伏する。
- 82 天目山の戦いで武田氏を滅亡させる。
- 82 [] 寺]の変([] の謀反)により自害する。

4 「長篠合戦図屏風」を見て、長篠合戦の意義について考えてみよう。

5 信長の宗教政策について学ぼう。

- (1)キリスト教をどのように扱ったのか調べてみよう。

(2)延暦寺、石山本願寺や一向一揆を制圧した目的を考えてみよう。

6 信長の経済政策について学ぼう。

(1)京都や堺を直轄領にした目的を考えてみよう。

(2)「楽市・楽座」とはどのような政策か、調べてみよう。

(3)「楽市・楽座」以外の経済政策について調べてみよう。

7 信長の斬新さに着目して、彼の宗教政策と経済政策の歴史的意義についてまとめてみよう。

確認テスト&自己評価票1(織田信長) (第2時間目を実施)

1 信長の政策と統一事業に関する以下の問いに答えなさい。

(1)信長が今川義元を破った戦いは?

(2)信長が1571年に焼き討ちした寺はどこか。

(3)信長が鉄砲を効果的に使用した戦いは?

(4)信長が本拠地として琵琶湖のほとりに築いた城は?

(5)信長が明智光秀の謀反によって自害した出来事を何というか?

(6)信長の重要な経済政策を一つあげ、それがどのような政策であり、どのような目的で行われたのかを、簡単に説明しなさい。

政策名
政策の内容
政策の目的

2 信長について学んだ授業を振り返って、A~Dで自己評価しなさい。

A:当てはまる(よくできた)

B:だいたい当てはまる(だいたいできた)

C:あまり当てはまらない(あまりよくできなかった)

D:まったく当てはまらない(まったくできなかった)

}自己評価票2・3では省略

(1)信長という人物に興味・関心をもち、もっと調べてみたいと思った。

(2)信長の統一過程がわかった。

(3)キリスト教政策を理解できた。

(4)仏教勢力と対決した意図を考えることができた。

(5)「楽市・楽座」の目的を考えることができた。

A - B - C - D
A - B - C - D
A - B - C - D
A - B - C - D
A - B - C - D

3 信長のどのようなところに興味・関心をもちましたか?あるいは、さらにどのようなことを調べてみたいと思いましたか?また、信長について疑問に思ったことはありますか?

--

ワークシート2 豊臣秀吉の天下統一 (第3～5時間目用)

1 秀吉の生い立ち

- 1537 尾張(現在の[] 県)の百姓の家に生まれる。
55頃 織田信長に仕える。

2 秀吉の統一過程

- 74 近江国(現在の滋賀県)長浜の城主となる。
77～ 中国地方の毛利氏と戦う。
「本能寺の変」の時点には、備中(現在の岡山県)高松城を攻撃中。
1582 本能寺の変(織田信長が[]の謀反により自害する。)
山崎の合戦で[]を破る。
[太閤]を開始する。
83 賤ヶ岳の戦いで柴田勝家を破る
[]城]の建設を開始する(85年に完成)。
84 小牧・長久手の戦いで、[]と交戦したのち和睦する。
85 朝廷から[]に任命される。
86 太政大臣となり、[]の姓をたまわる。
87 九州平定
バテレン追放令を出す。
88 []令]を出す。
90 []攻め]により北条氏を滅ぼす。
奥州平定 = 全国統一を完成

3 秀吉の晩年

- 1591 []令]を出す。
1592・97 []出兵](文禄・慶長の役)
93 子[]誕生する。
98 死去

4 検地について学ぼう

- (1)「検地」の実施方法やその内容について調べてみよう。
(2)秀吉が検地を行った目的を考えてみよう。

5 刀狩について学ぼう。

「刀狩令」現代語訳(原文は教科書P)

- 一、百姓達が、刀・槍・鉄砲などの武器を持つことを堅く禁止する。その理由は、 unnecessary 道具を持っていると、年貢を出し渋り、万一にも一揆を企てる者達は当然処罰されるべきであり、そうなるとその土地は不作になり、土地が無駄になるので、大名らの責任において百姓達の武器を全て没収しなさい。
一、没収した刀などは無駄にせず京都方広寺の大仏を建立する際の釘などに使用することとする。(以下略)

- (1)刀狩令を出した時、どんな理由をつけたのか、史料を読み取ってみよう。

(2)秀吉が刀狩を行った本当の目的を考えてみよう。

6 検地・刀狩・身分統制令の結果、農民にとってはどのような変化があったのかまとめてみよう。

7 バテレン追放令について学ぼう。

(1)秀吉のキリスト教政策について調べてみよう。

(2)秀吉がバテレン追放令を出した目的を考えてみよう。

8 朝鮮出兵の影響について考えてみよう。

9 秀吉が天下統一を果たしたことの歴史的意義についてまとめてみよう。

確認テスト&自己評価票2(豊臣秀吉) (第5時間目に実施)

1 秀吉の政策と統一過程に関する以下の問いに答えなさい。

(1)秀吉が山崎の合戦で打ち破った人物は誰か？

(2)秀吉が本拠地として石山本願寺跡に築いた城は？

(3)秀吉は何という地位について日本全国の支配者となったか？

(4)秀吉は1592年と97年に国外に出兵した。どこに出兵したのか？

(5)秀吉の重要な政策を一つあげ、それがどのような政策であり、どのような目的で行われたのかを、簡単に説明しなさい。

政策名
政策の内容
政策の目的

2 秀吉について学んだ授業を振り返って、A～Dで自己評価しなさい。

(1)秀吉という人物に興味・関心をもち、もっと調べてみたいと思った。

A - B - C - D

(2)秀吉の天下統一の過程がよくわかった。

A - B - C - D

(3)「検地」の方法が理解できた。

A - B - C - D

(4)「検地」の目的を考えることができた。

A - B - C - D

(5)「刀狩」の目的を考えることができた。

A - B - C - D

(6)「バテレン追放令」の目的を考えることができた。

A - B - C - D

(7)「朝鮮出兵」の影響を考えることができた。

A - B - C - D

3 秀吉のどのようなところに興味・関心をもちましたか？あるいは、さらにどのようなことを調べてみたいと思いましたか？また、秀吉について疑問に思ったことはありますか？

--

ワークシート3 徳川家康の政権獲得・江戸幕府開設 (第6・7時間目用)

1 家康の生い立ち

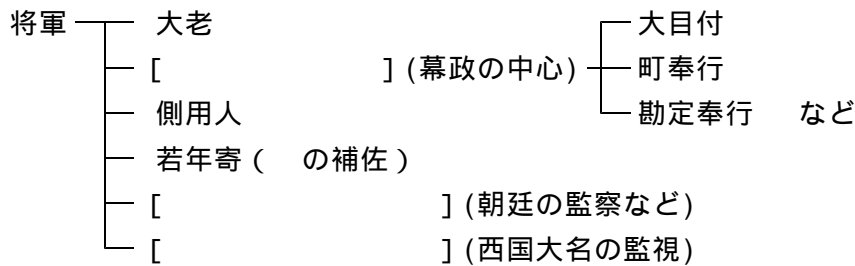
- 1542 三河(現在の[] 県)の岡崎城主 松平家に生まれる。
 47~60 織田氏、今川氏の人質となる。
 60 桶狭間の戦い後、今川氏から独立する。
 72 三方原の戦いで武田信玄に敗れる。
 82 天目山の戦いで武田氏を滅ぼす。
 84 [] 戦いで秀吉と交戦して和睦し、のち秀吉に従う。
 90 関東地方に250万石の領地を与えられる。(本拠地 = [])
 98 秀吉死去
 [] の筆頭として、秀頼を補佐する。

2 家康の政権獲得・江戸幕府開設

- 1600 [] の戦いで、[] らを破る。
 03 [] に任命され、江戸幕府を開く。
 05 息子の[徳川] に将軍職を譲るが、
 駿府(現在の静岡市)で、大御所として実権を維持する。
 14 [] で秀頼を追いつめる。
 15 [] で秀頼(豊臣氏)を滅ぼす。
 16 死去

3 江戸幕府のしくみ [家康の死後の事項も含む]

(1) 幕府のしくみ (主なもの)



(2) 将軍の権力

経済力...直轄地(天領) = 約[]万石 (= 全国の約1/7)
 + 旗本知行地 = 約300万石 } (= 全国の約1/4)

√ { 主要都市(江戸・京都・大坂・長崎など)の直接支配
 鉱山(佐渡金山・足尾銅山など)の直接支配

商工業・貿易を支配、[] を発行する権利。

軍事力... [] [] = 将軍直属の家臣(約2万2千人)

(3) 大名の統制

ア 大名の区分

- [] (徳川氏の一門)
 [] (徳川氏の古くからの家臣)
 [] (関ヶ原の戦い以降に従った大名 幕府が特に警戒した)

イ 大名統制の基本法 = [21] (初制定1615年)

主な内容...城の新築禁止、大名同士の婚姻の許可制など

違反者には厳しい処分

[22] 制度 (大名は1年おきに江戸と各領地を往復する)

(4) 朝廷の支配

[23] 法度 (1615年制定) + []

(5) 寺社の支配

寺院法度 + 寺社奉行

[24] 制度 (キリスト教禁教策のひとつ)

(6) 農民の支配

[25] 百姓 (田畑を持つ) と [26] 百姓 (田畑を持たない)

五人組に編成され、助け合いと連帯責任を負わされる。

税率は、収穫の [27] % が原則。他にも負担あり。

[28] の禁令 (1643年制定)

[29] 制限令 (1673年)

- 4 家康が子の秀忠に将軍職を譲ったことの意味を考えてみよう。
- 5 家康が大名を厳しく統制した理由を考えてみよう。
- 6 「寺請制度」について調べてみよう。
- 7 農民を厳しく支配した理由を考えてみよう。
- 8 家康が260年も続く幕府を開いたことの歴史的意義についてまとめてみよう。

確認テスト&自己評価票3 (徳川家康) (第7時間目に実施)

1 家康の政策に関する以下の問いに答えなさい。

(1) 家康政権の本拠地となった所はどこか？

(2) 家康の政権獲得を決定づけた戦いは？

(3) 家康は武家政権の長として何という地位についたか？

(4) 豊臣家を滅ぼすための2度の戦いを、あわせて何とよぶか？

(5) 幕政の中心となった役職は何か？

(6) 大名統制の基本となった法令は何か？

(7) 家康の重要な政策を一つあげ、それがどのような政策であり、どのような目的で行われたのかを、簡単に説明しなさい。

政策名
政策の内容
政策の目的

- 2 家康について学んだ授業を振り返って、A～Dで自己評価しなさい。
- (1)家康という人物に興味・関心を持ち、もっと調べてみたいと思った。
- (2)家康の政権獲得までの過程がよくわかった。
- (3)幕府の仕組みが理解できた。
- (4)将軍の経済力と軍事力の状況を理解できた。
- (5)大名を厳しく統制した理由を考えることができた。
- (6)農民を厳しく支配した理由を考えることができた。
- (7)キリスト教政策について理解できた。

A - B - C - D
A - B - C - D
A - B - C - D
A - B - C - D
A - B - C - D
A - B - C - D
A - B - C - D

- 3 家康のどのようなところに興味・関心を持ちましたか？あるいは、さらにどのようなことを調べてみたいと思いましたか？また、家康について疑問に思ったことはありますか？

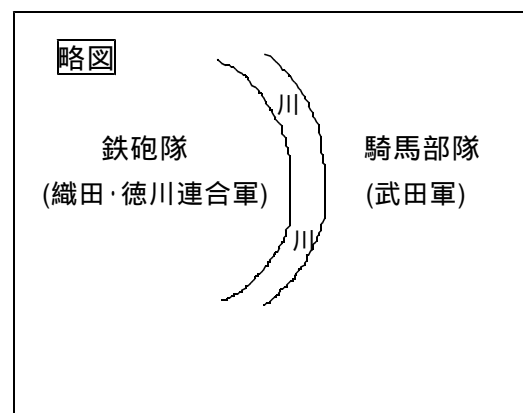
3 資料を読み取る場面

(1)考え方

「長篠合戦図屏風」は、ほとんどの教科書や図説に掲載されており、最も親しまれている歴史資料の一つである。また、長篠合戦で信長が鉄砲隊を用いたことは、知識としてよく定着している。この知識をもとに、きわめて基本的なレベルではあるが、単なる言葉による記憶にとどまらない、活用できる知識を身に付けさせるため、「合戦図」を資料として読み取らせる場面を設定した。

(2)授業展開

教科書（図説）の「長篠合戦図屏風」に注目させる。
 図の中央をゆるくカーブして流れている川をはさんで、左右に、戦った両陣営が向かい合っていることを説明し、両陣営の装備の違いに着目させる。
 左側は誰の軍であるか、また、そのように判断した理由な何かを生徒に答えさせる。
 右側は誰の軍であるか、また、そのように判断した理由な何かを生徒に答えさせる。
 織田・徳川連合軍が木の柵を用いた陣地を作っていることや、鉄砲隊の動き方について説明する。



4 3人の政策についての調べ学習（第8・9時間目）

(1)学習のテーマ

3人が行った政策の中から詳しく調べたい分野を一つ選ばせ、3人を比較しながらそれぞれの政策についてまとめさせた。資料は、教科書、図説、配布プリント、図書館の蔵書等を利用させ、成果はレポートとして提出させた。レポートは総括的評価の対象の一つとした。

日本史B 課題プリント

課題 織田信長、豊臣秀吉、徳川家康について、一つ分野を選び、その分野でそれぞれが行った政策について、3人を比較しながらまとめなさい。

選んだ政策分野
信長
秀吉
家康

(2) レポートの内容

21名の生徒が提出したレポートのテーマは、「代表的な戦い」「キリスト教(宗教)」「城(本拠地)」「出身地」に分かれた。「出身地」は“政策”とは言い難いが、生い立ちから出世するまでの過程を比較しており、3人の比較研究になっている。

(3) レポートの例

生徒が提出したレポートの中から、良い評価の付けられるものや特徴のあるものを下に示す。これ以外にも、1人についてはよくまとまっているが、他の2人についてはやや不十分、というレポートはいくつかあったが、3人全員について優れているものはなかった。

生徒の学びの改善に生かすため、レポートには授業担当者のコメントを記入して、生徒に返却した。

代表的な戦い

信長...長篠の戦い：鉄砲を効果的に用いて武田勝頼を倒した。 桶狭間の戦い：駿河の今川義元の大軍を破り、1568年には京都にのぼって足利義昭を 将軍にした。
秀吉...小田原攻め：圧倒的な兵力で城を包囲し、北条氏を降伏に追い込んだ。 賤ヶ岳の戦い：柴田勝家を近江で破り、信長の後継者の地位を獲得した。
家康...関ヶ原の戦い：得意な野戦に持ち込み、反対派を一挙に倒したのち、家康は国内統治 の政策をすすめ、1603年征夷大将軍に任じられ、江戸幕府をひらいた。

授業担当者のコメント：

資料をもとに要領よくまとめてあります。さらに、3人の戦い方の特徴や敗れた側のその後なども調べるといいですね。

キリスト教(宗教)

信長...宗教的権威などというものを一切認めようとしなかったが、秀吉、家康のように禁止 はしなかった。
秀吉...1587年、九州に出兵の際、博多でバテレン追放令をだして宣教師の国外追放を命じ、 布教を禁止した。
家康...秀吉の禁教政策をいっそう強め、1613年には全国にキリスト教禁止令をだし、もと大 名であった高山右近らをマニラなどに追放した。35年には日本人の海外渡航と国外にい る日本人の帰国とを全面的に禁止した。

必要な事項を簡潔にまとめてあります。これらの方針・政策をとった理由やその影響にも言及すればなおよかったと思います。

城（本拠地）

信長...「安土城」天下統一のための拠点として築いた城。岐阜から安土に城を移したのは、一つには越後の上杉謙信対策であり、一つには北陸の一向一揆を監視するためであった。1582年の本能寺の変に続く山崎の戦いの余波で焼け落ちた。

秀吉...「大坂城」1532年山科本願寺が焼き討ちされたあと、10世証如によって本願寺がここに移された。豊臣氏時代の太閤が幕府が10メートルほどの土盛りをし、石垣がすべて埋められてしまったうえでまったく新しい縄張りでもって徳川氏の大坂城を築き上げた。（1619年）

家康...「江戸城」1457年、関東管領扇谷上杉氏の家宰太田資長が古河公方足利成氏に対抗するための拠点として築いたが、北条氏の支城となり、北条氏が滅亡したあと入城した徳川家康によって大改修が施された。家康のあと、代々つがれていき、1719年、東西5キロ、南北3.9キロに及び日本最大の城ができあがった。

この3人とは直接関係のない内容も入っているが、授業では取り上げなかった発展的な内容まで記述している点がすぐれています。秀吉・家康がその地を選んだ理由にも言及すればさらによかったと思います。

出身地

信長...1534年、尾張の国（愛知県）那古野城で生まれる。律令制で尾張国と三河国の二国に分かれていた。越前織田庄の出身で尾張国守護斯波氏の被官から守護代（織田常松）となり、信長は清洲城主なる。

秀吉...1537年、尾張の国（愛知県）中村の百姓に生まれる。信長の後を継いだ秀吉は、小田原征伐ののちに天下統一を果たし、関白に任ぜられる。

家康...1542年、三河の国（愛知県）岡崎城で生まれた。関ヶ原の戦いで勝利を収めたのち、江戸を開き三〇〇年の太平の世とした。幕府を開くとともに、尾張藩主には、九男義直を封じて約六十二万石の大藩とした。家康は徳川幕府二六五年の基礎を作った。

欄外

天下を統一した、織田・豊臣・徳川は偶然とはいえ三英傑とも尾張・三河の出身である。

この3人の“政策”からは外れるテーマ設定ですが、3人がともに現在の愛知県出身であることに気付いた点がよかったです。

5 単元を振り返っての自己評価

(1) 生徒の自己評価

単元の最後に、単元全体を振り返った自己評価（「自己評価票4」）を生徒に行かせた。評価は、単元途中での自己評価と同様、A：当てはまる（よくできた）、B：だいたい当てはまる（だいたいできた）、C：あまり当てはまらない（あまりよくできなかった）、D：まったく当てはまらない（まったくできなかった）の4段階とし、生徒の負担を考慮し、評価項目数が多くなりすぎないようにした。また、「3人の人物のどのようなところに興味・関心をもちましたか？あるいは、さらにどのようなことを調べてみたいと思いましたか？また、疑問に思ったことはありますか？」と問い、自由記述で答えさせた。

以下に、生徒19名（2名欠席）による自己評価の集計結果とともに、評価項目と4観点とのかかわりについて 印で示す。

評 価 項 目	評 価				関 意 態	技 ・ 表	思 ・ 判	知 ・ 理
	A	B	C	D				
信長の統一過程が理解できたか？	7	11	1	0				
秀吉の統一過程が理解できたか？	5	13	1	0				
家康の統一過程や江戸幕府のしくみが理解できたか？	3	12	4	0				
信長・秀吉・家康の3人のいずれかについて、「これはなぜか？」と疑問をもったか？	6	6	7	0				
3人の政策の目的や意義などについて考えることができたか？	6	6	7	0				
3人いずれかの生涯や政策について、テーマを決め、興味をもって調べることができたか。	7	9	2	1				
3人の情報を適切に収集し選択することができたか？	4	7	8	0				
3人の政策を比較しながら総合的に考え、レポートにまとめることができたか？	3	11	4	1				
単元途中での「確認テスト&自己評価票」には真剣に取り組んだか？	7	6	5	1				
この単元を学んで、歴史に対する興味・関心は高まったか？	5	9	2	3				

自由記述欄に生徒が記入した事項の主なものを示す。

信長：本能寺の変がおきた理由や内容をもっと知りたい。

本能寺の変で自害したとき、どんな心境だったのか。(本人しかわからないので)人柄、どういう考え方をしているかなど。

商人が自由に営業ができる楽市・楽座の制に関心をもった。

秀吉：なにがあって信長の部下になったのか。

なぜ朝鮮に攻撃をしかけたのかわからなかった。

秀吉はどんな生活をしていたか。

家康：家臣たちのまとめかた。

なぜ天ぷらの食べ過ぎで死んだのか。

徳川家が15代まで続いた理由。

(2)自己評価の結果から

全項目にA評価をつけた生徒が2名いた。それ以外の生徒については、やや甘い評価結果といえるが、おおむね真面目に自己評価に取り組んだと考えられる。

「統一過程が理解できたか」では、信長、秀吉、家康の順に、A評価が減少し、C評価が増加しているが、江戸幕府のしくみには複雑な面もあるので、このような結果になったとも考えられる。

「この単元を学んで、歴史に対する興味・関心は高まったか？」については、14名がA評価またはB評価である反面、D評価が3名いた。こうしたD評価の生徒の「関心・意欲・態度」を高めるような指導の工夫を考える必要がある。

また、自己評価票を生徒に返却して次の指導に生かすことが大切である。自由記述の内容に対して、「あなたが信長だったら自害するときにはどういう心境になるでしょう?」とか、「家康のもとにたくさんの家臣が従ったのは、家康の人的魅力もあったのかもしれませんが。家康関係の本がたくさん出ていますから、公立の図書館などで探して、調べてみてはどうですか?」などと書き添えることが、生徒が新たな学習活動に取り組むきっかけになると考えられる。

6 成果と課題

(1) 基礎的・基本的な知識の定着と「関心・意欲・態度」の向上

信長、秀吉、家康の3人を取り上げ、初めに生い立ちや人柄などのエピソードを紹介し、興味・関心を喚起した上で、主な政策について資料をもとに考察させた。各人物の学習の区切りには確認テストを行い、基礎的・基本的な知識の確実な定着を図った。あわせて、その人物についての学習を振り返らせ、自らの学習姿勢を自己評価させた。

単元の初め頃には発問してもなかなか答えが返ってこなかったが、このような学習活動を繰り返すことにより、次第に自分から考えようとする姿勢が多くの生徒に見られるようになり、単元の後半には自ら考えたことを、まとめ、発表することができるようになった。

3人の政策について比較したレポートを見ると、授業で扱う内容以上のことをまとめているものもあり、課題を主体的に追究していたことがわかった。

単元全体を振り返っての自己評価では、「知識・理解」にかかわる項目で、多くの生徒がおおむね満足できる結果となり、歴史に対する興味・関心の高まりも見られた。確認テストによって、基礎的・基本的な知識が身に付き、その知識をもとに考察したり課題を追究したりすることができるようになり、学習した人物に対する関心が高まり、主体的に学ぼうとする姿勢が育ってきた。

(2) 今後の課題

歴史上の人物や出来事に対して、「なぜ?」という疑問をもつことは、歴史を主体的に学ぶことの第一歩であるといえる。疑問をもつための前提として、基礎的・基本的な知識を身に付けておく必要があるが、従来の授業は、知識を定着させることに終始しがちであったため、教師が説明し、生徒はそれを聞いてノートにまとめるというかたちになっていた。その結果、生徒の学習姿勢は受け身になり、「歴史=暗記科目」という印象を抱かれてしまっていた。

生徒に学習活動を通じて疑問を持たせ、その疑問を、教師とのやりとりを通して解決したり、自ら資料を探するなどして主体的に追究、解決したりする学習を促すことが大切である。